

祝 国体ゴルフ女子個人初優勝！

瀬賀百花選手 団体準優勝にも貢献

第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」で、瀬賀百花選手（開志国際高校3年・下関）が新潟県としては初となるゴルフ女子個人の部で優勝に輝き、団体の新潟県チームのメンバーとしても準優勝に大きく貢献しました。



▲ティースショットを放つ瀬賀選手
(新潟日報10月8日付 新潟日報社提供)

（合計スコアが最も少ないものを優勝とする）で行われた。初日をイーブンパーの72で終え、最終日もスコアを落とすことなくプレーし、合計144の安定したゴルフで初優勝を飾りました。

9月末にプロツアーの日本女子オープンゴルフに出場したばかりで、その後すぐに国体県メンバーと合流。3度目の国体で頂点に立った瀬賀選手は、「これまででお世話になった監督を胸上げたい一心で臨んだ結果、個人優勝につながりました。嬉しいですね」と喜びを語ってくれました。

来年は、プロテストを受験予定。関川村からプロゴルファーの誕生が期待されます。

関川小5年生児童 学校田で収穫作業を体験

10月5日に関川小学校の5年生児童が、下関地内にある学校田において、稲刈り体験学習を行いました。5月下旬の田植えに続きまして、JA職員のほか、地域の皆さんなど16人がボランティアとして参加しました。児童たちは慣れない手つきで鎌を使い、10株ごとにひとまとめにしました。

体操着に泥をつけながら作業をがんばった佐藤遥さん（大島）は「稲刈りもはさがけも初めてだったけど楽しかった。今から食べるのが楽しみです。将来農業をやってみたい」と話していました。

今回の収穫した米は玄米で350kg。10月30日に農林業まつり会場や道の駅関川周辺で無料配布されたほか、学校給食などで使用される予定です。



雨天もなんの！ 熱気にあふれ

～下関大祭～



勇壮な大輪やお神輿、華やかな山車がまち中を練り歩く伝統の下関大祭が9月17日と18日の2日間行われ、下関集落が熱気に包まれました。

大祭は、実行委員会を中心に青年団や消防団、子どもたちが早くから準備をすすめてきました。「はやし手」や「太鼓たたき」「踊り手」として祭を盛り上げる子どもたちに沿道からは拍手が送られました。

18日の本祭は、あいにくの小雨もようとなったため、稚児舞は渡邊邸の邸内で披露することになった。渡邊邸保存会事務局長の井浦さんは、「渡邊邸を訪れたお客様にも厳かな雰囲気味わってもらえて良かった」と話していました。

シルバー人材センターが 清掃ボランティアを実施

社会参加の意欲ある健康な高齢者に対し、就業提供活動と並んで、社会奉仕の活動機会を確保することを目的としている村上地域シルバー人材センターが、10月22日に清掃ボランティア活動を行いました。

地域の理解や支援によりセンターが発展してきたことへの感謝の気持ちを込めて行っているもので、今年で2回目。関川地区の会員15人が、役場や社会福祉センター周辺の草刈りやゴミ拾い、枝の剪定作業を行いました。

秋晴れとなったこの日、昨年に続いて参加した高橋健一さん（大島）は、「これからは、冬囲いで忙しくなる。その前に日頃の感謝をこめてボランティア活動を出来て良かった」と気持ち良い汗を流していました。



カンボジア政府官僚が 関川村を視察



10月7、8日の2日間、カンボジア政府職員ら6人が村の農業や教育関係の視察に訪れました。

今回の視察は、村職員がカンボジア北部のプレアビヒア州を旅行で訪れた際の出会いをきっかけに実現したもの。視察団は、畜産団地や菌床しいたけ栽培施設、コメの乾燥施設などを熱心に見学しました。また、ICT（情報通信）授業に取り組む小中学校の教育にも興味を持たれ、村とカンボジアの子どもたちをつないだ育成の可能性や村との交流についても検討していました。

山口ファームの山口廣武さん（蛇喰）は、「カンボジアの方と交流が出来たのは貴重な体験でした。国際交流が広がることを期待します」と話していました。

▶全校集会での発表の様子



切に飼育しています。
10月18日には、全校集会でホタルに関する研究を発表。クイズを交えた寸劇で、幼虫が脱皮をして成虫になる様子を上手に表現しました。10月20日には、長岡の越路西小学校4年生25人とホタル交流会を実施。越路西小の研究発表とホタルの生息地である下川口地内を視察しました。
阿部大雅さん（3年・金丸）は、「もっと勉強してホタルのことに詳しくなりたい。そして来年の発表を成功させたいです」と話してくれました。

関川小学校では、来年行われる全国ホタル研究会関川村大会に向けて、ホタルの研究を行っています。全国の舞台で活動発表を行うのは、3年生30人です。
夏から下川口地内で捕獲してきたホタルの飼育を始め、産卵から孵化まで観察を行ってきました。現在、孵化した幼虫は15mmとなり、エサとなるカワニナを入れた水槽で大



全国大会に向けて
「発表会・交流会」を開催！



▲交流会での現地視察（下川口）の様子